

# 自主創造

2022年3月24日

第11号

校長 根路銘 敢

学校教育目標

自ら学び、心豊かに  
たくましく国際社会  
を生きる生徒の育成  
く頭・心・体を鍛える

# 大切にしたい3つの言葉

あたたかい日差しに春の訪れを感じる頃となりました。去る3月12日に第四十三回卒業式が執り行われ二九八名が義務教育を終え、それぞれの進路に向け立ちました。

3年生の学級合唱発表会と11月に学年行事を行うことができました。令和3年度は、生徒も教職員もコロナ禍だからこそ、「心を合わせ・力を合わせ・知恵を合わせ」ることを大切に教育活動の充実に努めてきました。

『ありがとう』と『ごめんさい』そして『さようなら』です。

『ありがとう』の言葉は、言葉の数だけ、人は優しくなると言われます。感謝の心を表すことで、人は相手の優しさを謙虚に受け止めることができるようになります。

『ごめんさい』の言葉は、言葉の数だけ、人は賢くなると言われます。人は時々に心から謝るときに、許され、人との関わりも、元のようになれることが数多くあります。そして、そのたびごとに、過ちや失敗を繰り返さないための、様々な方法を学び取り、人とのより良い関わり方や、身の処し方についての知恵や技を、身に付けることができますのです。嘘をつき、その場をごまかしたりすること、を繰り返してしまつと、段々、そのような行為がエスカレートし、後々、その人の

人生において、一番大事な岐路に立った時、そのしっぺ返しを味わいます。『ごめんさい』の言葉だけ、人は賢くなるという、言葉の意味を忘れないでください。

『さようなら』の言葉は、言葉の数だけ、人は人の愛を知ると言われています。人は別れの時になつてはじめて、多くの人に、大切にされてきたことに気が付きます。教室で、支え励ましてくれた友達の優しや、思いやりも、別れる今になって、改めて強く感じている人もいるでしょう。このような別れの時を繰り返すなかで、人は人の愛を知り、その体験を通して、多くの人に愛情をもって接することができるようになります。

最後に、私事になりますが、今年度ももちまして36年間の教員生活を終えることになりました。保護者及び関係者の皆様には、これまでの本校教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策として、体育祭や修学旅行等の学校行事や中体連競技の中止及び延期がありました。しかし、タブレット端末を活用した授業が充実するとともに1年生の地域貢献活動。2年生の沖縄子どもの国でのSDGs体験活動。

『さようなら』の言葉は、言葉の数だけ、人は優しくなると言われます。感謝の心を表すことで、人は相手の優しさを謙虚に受け止めることができるようになります。

『ごめんさい』の言葉は、言葉の数だけ、人は賢くなると言われます。人は時々に心から謝るときに、許され、人との関わりも、元のようになれることが数多くあります。そして、そのたびごとに、過ちや失敗を繰り返さないための、様々な方法を学び取り、人とのより良い関わり方や、身の処し方についての知恵や技を、身に付けることができますのです。嘘をつき、その場をごまかしたりすること、を繰り返してしまつと、段々、そのような行為がエスカレートし、後々、その人の

人生において、一番大事な岐路に立った時、そのしっぺ返しを味わいます。『ごめんさい』の言葉だけ、人は賢くなるという、言葉の意味を忘れないでください。

『さようなら』の言葉は、言葉の数だけ、人は人の愛を知ると言われています。人は別れの時になつてはじめて、多くの人に、大切にされてきたことに気が付きます。教室で、支え励ましてくれた友達の優しや、思いやりも、別れる今になって、改めて強く感じている人もいるでしょう。このような別れの時を繰り返すなかで、人は人の愛を知り、その体験を通して、多くの人に愛情をもって接することができるようになります。

最後に、私事になりますが、今年度ももちまして36年間の教員生活を終えることになりました。保護者及び関係者の皆様には、これまでの本校教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 学年行事大成功

3月15日に2年生、17日に1年生の学年PTA行事として、千変万化リレーが行われました。2年生は、大会名を「ネロメンピック」1年生は「みにみに運動会」とし、二人三脚、袋飛び、パン食い競争、あめ玉さがし、段ボールキャタピラ、ぐるぐるバット、借り物競走など、それぞれの学年の特徴をいかした種目で、学年委員を中心に、グラウンドいっぱい盛り上がった行事になりました。



## 第3回英語検定試験 祝 1級・準1級合格

第3回英語検定試験が、2月10日に行われ、本校から1級（大学上級程度）に、1年生のエスパルザ佳之介さん、準1級に同じく1年生の増田暖菜サチカさんが見事合格しました。二人は、1次試験対策として、過去問題集を中心に取り組み、2次試験対策は、佳之介さんは、パソコンを活用し、エッセイの書き方や世界で起きていることについて、スピーチができるように頑張った。暖菜さんは、姉と面接の練習をしたり、勉強と遊びのバランスを考えて頑張った。二人は、今後も次の目標に向かって、決意を新たに語ってくれました。

